

さらにめぐってみたい 社寺・古跡<周辺ルート>

メインルート以外の場所にも多くの社寺・古跡や観音村の人々の生活がしのばれる場所があります。

植物公園近くの倉重地区、坪井上地区、三宅地区と少し登り坂が多くなりますが、遠く瀬戸内の島々や海に開けた市街地が広く見渡せるビュースポットもあります。また、棚田など自然に恵まれた風情も点在します。こうした風情も楽しみながらかのん村探訪ウォーキングをさらに楽しんでいただければと思います。

お願い

◎ **◎** は個人宅のお庭にありますので、一言「お許しを…」得ていただければと思います。

極楽寺山

極楽寺山は、標高693メートル、広島市佐伯区と廿日市市の境にそびえています。その優れた多島景観とモミの原生林によって山頂一体は瀬戸内海国立公園に編入されています。

極楽寺山の名前は、山頂近くに真言宗上不見山極楽寺があることに由来します。極楽寺の本尊千手観音にちなみ、観音山ともよばれています。

天平9(737)年、聖務天皇の時代、僧の行基が東大寺造営の勧進にこの沖を通りかかると、北方の高山から光明を発して海上を照らすのを見て、不思議に思い船を岸に寄せその山に登りました。そこには、苔むした杉の大木が茂り立っていました。行基は、この大杉を伐って、48体の阿弥陀仏を刻み、次に「千手観音」像を刻み、次に薬師如来をを刻み、余り木をもって諸仏を刻みました。行基は千手観音を本尊として山中最も景勝の地にあたる南の峰に安置しました。これが今に伝わる極楽寺の千手観音です。その裾野に開けた村が観音村です。



注：極楽寺は廿日市市に属します。

極楽寺山頂上から望む 瀬戸内海



極楽寺登山案内

観音コース

観音台入口バス停～坪井公園
～観音道登山口標識～絶景ポイント(ベンチ)
～極楽寺観音堂横手

屋代コース

広島工業大学上バス停
～右手に宮島ゴルフ場を見ながら
～砂防ダム公園～電波反射板～仁王門

所要時間: 上り約1時間30分 下り約1時間